

議会だより



一戸小学校の入学式が4月8日に行われ、新1年生35人が小学校生活の第一歩を踏み出しました。

3月定例会

一般会計当初予算 73億3000万円 2

予算審査特別委員会の審議 6

一般質問 7人が町の未来を問う 12

人づくりに重点

子育て天国・一戸の実現へ



今期定例会は、2月27日から3月20日まで22日間の日程で開催しました。

最初に、町長より平成26年度施政方針演説、教育委員長より教育施政方針演説がありました。

平成26年度一般会計予算ほか各特別会計予算などの新年度予算議案9件は、議長を除く議員全員で構成する予算審査特別委員会に付託し、審査しました。

一般質問では、7人が町政の諸課題について町の姿勢をただしました。

審議の結果、予算案を含む全23議案、追加提案した「委員会の閉会中の継続調査」2件、「議員派遣の件」1件をすべて原案のとおり同意・可決しました。

総額 99 億 5509 万円



平成 23 年度より改良工事が行われている町道女鹿線

平成 26 年度各特別会計予算

国民健康保険事業勘定	19億9245万円
土地取得	911万円
工業団地事業	612万円
農業集落排水事業	8945万円
下水道事業	3億5593万円
個別生活排水処理事業	3953万円
後期高齢者医療	1億3250万円
合計	26億2509万円

平成26年度水道事業会計予算

収益的収支	収入	3億7154万円
	支出	3億4561万円
資本的収支	収入	9845万円
	支出	2億8835万円

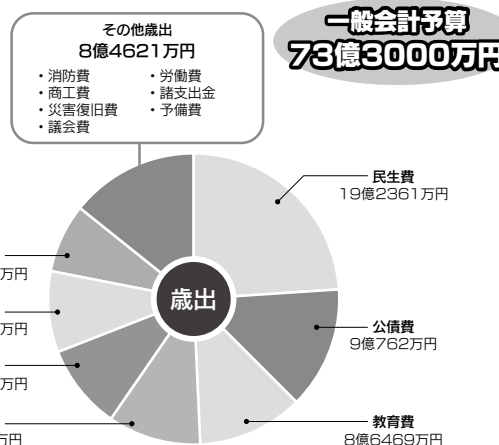
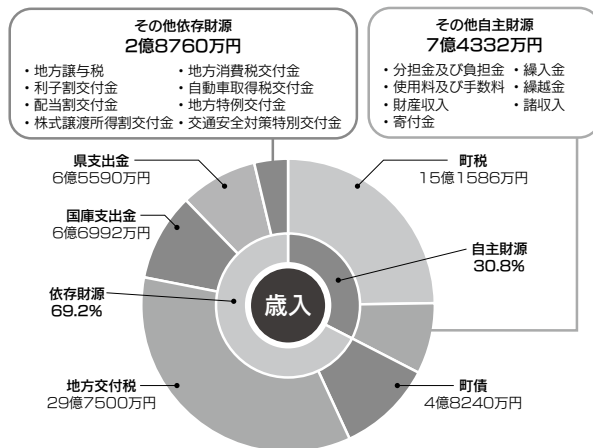
用語解説

- ①歳入・歳出 歳入：収入、歳出：支出のこと
- ②町税 町民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税、入湯税
- ③地方交付税 全国どこでも一定水準以上の行政サービスを提供するため、国の税金（所得税、法人税、酒税など）の一部を地方自治体に配分し、自治体ごとの税収の差をならすもの。
- ④国庫・県支出金 特定の事業の実施のために、その経費に使うことを条件として、国や県から交付されるお金。
- ⑤町債 町が資金調達のために行う長期借入金（借金）
- ⑥民生費 障がい者、高齢者、児童福祉などに使われる
- ⑦衛生費 各種検診、予防接種、ごみ・し尿処理などに使われる
- ⑧公債費 町債（借金）の返済に充てるお金。

平成 26 年度一般会計予算の規模は、73 億 3 千万円で、前年度比 2 億 1 千万円（2・9％）減になっています。

歳入では、昨年度、東北新幹線にかかる課税特例期間が終了することから、町税の大幅な増を見込んでいたものの、増加額の見込みが過大だったため、3 億 6 千万円（19・5％）の減となっています。その影響で地方交付税は約 3 億 5 千万円（13・3％）の増となります。

歳出では、災害復旧費が 1 億 2 千 805 万円（45・1％）の減、民生費が障害者自立支援等給付費の増などにより、1 億 887 万円（6・0％）の増、土木費が道路新設改良費の増などにより、1 億 620 万円（18・5％）の増、公債費が約 9 千 500 万円（9・5％）の減、農林費が 8 千 270 万円（11・8％）の減となっています。



一般会計予算
73億3000万円



学校施設いよいよ大規模宮繕

小鳥谷中校舎補強・奥中山中体育館改築設計など

平成 26 年度は町総合計画の基本計画の最終年度にあたります。26 年度予算の主な施策・事業内容を基本計画に沿って紹介します。(赤色は新規事業)

自分や周りの人を大切にする町になるために

高齢者や障がい者、子育て支援、保健医療や社会保険など福祉の分野です。

障害者自立支援給付費

4 億 5 千 360 万円

介護保険対策費

(二戸広域負担金)

2 億 6 千 322 万円

後期高齢者医療事業費

(特別会計繰出金含む)

2 億 2 千 410 万円

保育所運営委託料

(私立分 延長保育含む)

1 億 4 千 719 万円

国保会計繰出金

1 億 817 万円

養護老人ホーム保護措置費

4 千 603 万円

チップボイラー設置事業費
(総合保健福祉センター)

6 千 798 万円

重度身障者医療費給付費

4 千 240 万円

障害児給付費

744 万円

特定不妊治療費給付金

150 万円

一戸高校海外福祉施策
修事業費補助金

110 万円

柔軟な知恵を出し合い、生活の土台を強くするために

農業、林業、商業、工業、観光・レクリエーション、雇用・消費者対策など産業に関する分野です。

いわて型牧草地再生対策事業委託料

9 千 50 万円

緊急雇用創出事業

7 千 845 万円

(うち地域人づくり事業)

1 千 687 万円

中山間地域等交付金

2 千 347 万円

奥中山高原施設管理費

2 千 320 万円

鳥海地区ほ場整備事業

2 千 30 万円

新卒者ふるさと雇用支援事業補助金

1 千 500 万円

優良肥育素牛・繁殖雌牛導入補助金

220 万円

薪ストーブ設置補助事業

50 万円



薪ストーブの設置に対し、補助金を交付します

先人に学び、誇れる資源
豊かな町になるために

生涯学習、学校教育、
生涯スポーツ、世界遺産
登録推進、青少年健全育
成、男女共同参画、国際

交流など、主に教育に関
する分野です。

小中学校費

(教育センター費含む)

3億967万円

(うち小鳥谷中学校舎耐震



御所野縄文博物館は、4月26日リニューアルオープンです

補強工事 6千万円、奥中

山中屋内体育館改築設計

委託料 3千167万円)

コミュニティセンター管

理費 6千810万円

総合運動公園管理費

4千538万円

御所野縄文公園管理費

3千629万円

幼稚園費 2千983万円

世界遺産登録推進費

1千372万円

(うち広告関係161万円)

小中学校ICT教育用シ

ンクライアントシステム

使用料 703万円

いわて国体町実行委員会

補助金 150万円

生活しやすい環境を整
備し、安心して暮らせ
る社会にするために

道路・交通網、上下水

道、住宅・宅地、環境・

景観、環境衛生、消防防

災、情報通信、交通安全・

防犯などに関する分野で

す。

災害復旧工事費(過年度公

共土木) 1億5千615万円

町道整備事業

1億3千990万円

町道維持補修事業

8千455万円

町道道路ストック総点検

事業 6千200万円

橋梁改修事業 2千300万円

子育て支援住宅改修工事

費 1千449万円

役場庁舎耐震設計業務委

託料 1千134万円

ごみ処理費(広域負担金)

8千251万円

一般家庭ごみ収集業務委

託料 4千453万円

し尿処理費(広域負担金)

4千415万円

生ごみ発酵処理事業費

920万円

広域消防費(負担金)

2億2千362万円

消防用遠隔広報設備改修

工事費 200万円

デマンド交通運行委託料

2千450万円

デマンド交通システム更

新事業 432万円

地方バス運行費補助金

3千265万円

小繋地区上水道工事

8千万円

一戸浄水場直流電源盤更

新工事など 5千160万円



橋梁改修工事が進む八木沢橋

取り組むべきことを、
みんなで考えみんなで
解決するために

町民主役のまちづくり
や広報広聴その他に関す
ることです。

農業委員選挙費 742万円

地域づくり推進事業費

566万円

公債費 9億747万円

の回収を継続



各地区公民館などに使用済み小型家電回収ボックスを設置

民生費

赤畑 町内の一人暮らし老人の安否確認は、どのような方法で行っていますか。また、65歳以上の一人暮らしの状況をお知らせください。

答 安否確認は、3年前からサービスを開始した見守りネットワークやシルバーサポーター緊急警報サービス、社会福祉協議会のお元氣見守りシステムなどで行なっています。一人暮らし世帯と高齢者のみ2人世帯は650世帯になっています。

菅野 町長は施政方針で、質の高い保育の提供をすることと臨時保育士の待遇改善を述べましたが、予算の内容を伺います。

答 保育所と学童保育所の非正規保育士の賃金



質の高い保育の提供を目指します

衛生費

単価を引き上げる予算となつていますが、事務と調理関係は現行どおりです。

駒木 使用済み小型家電リサイクル実証事業の内容と、使用済みパソコンの回収実績について伺います。

答 実証事業は、回収した使用済み小型家電をリサイクル業者へ引き渡し、希少金属などを取り出すものです。経費は環境省予算で実施しています。平成25年度は、計75台の使用済みパソコンを回収し、使用済み小型家電約4・9トンとともに一関市の業者へ引き渡しました。

使用済み小型家電

農林費

山下 いわて地域農業

マスタープラン事業補助金が減額となっていますが町民の要望をすべて反映したものでしょうか。

答 町の段階では要望

どおりの予算措置が可能です。近年、県負担分の予算を県が確保できないため、減額となっています。

土木費

柴田 町内のLED街

路灯補助について、25年の6月定例会の一般質問で3分の1から3分の2の補助に引き上げるということでしたが、予算措置されていないのはなぜですか。

答 当初では予算化し

ていませませんが、要望を受けてから補正で対応したいと考えています。周知についても検討します。

総括（一般）

上山 歳出の需用費、

備品購入費あるいは原材料費などには消費税がかかります。26年度の予算でこれらにかかる消費税増税分の3%はどのくらいの金額になりますか。

答 26年度の消費税の

特別会計

■下水道事業

中瀬 公共下水道施設

整備工事費の中で、町道馬場平線舗装復旧工事にあたり、バイパス側の側溝も傷みが激しく落として蓋形式の側溝にし、本

増税分は約6千250万円ほどと見込んでいます。

舗装する予定はありますか。

答 舗装の手法はこれからの検討になります。側溝の改修については現段階では検討していませんが、今後、国土交通省との協議が必要です。



側溝の改修が待たれる町道馬場平支線

若者が定住できるまちに

平成26年度予算に対する意見・要望 ――― 予算審査特別委員会



子育て支援住宅を整備します（旧一戸病院官舎）

意見・要望



田中 辰也
予算審査特別委員長

一般会計当初予算は、73億3千万円で前年度比2億1千600万円、2・9%の減となっている。

普通建設事業費は、24年度に大規模補正による事業の前倒しや、25年度の積極予算の反動で大きく削減されている。

一方、物件費や扶助費が大きな伸びを示し、次年度以降も財政運営の硬直化が懸念される予算編成となった。

予算の審議過程で、人づくり、人材育成、人材発掘など「人材」という発言が多くされた。一戸夢ファームや木質バイオマス発電所、食品開発など町の産業発展に大きな影響を与える施策には、人材が重要だということ

の表れである。単に施設を整備することに活路を見出すのは難しいことが明らかになったものである。

さらに、新卒者ふるさと雇用支援制度を新たに創設するなど若者の定住を図るための新たな施策も見られた。引き続き人材・若者が町に残ることができるような施策を最重要に取り組み、子育て支援施策との両輪で町の活性化に努めていただきたい。

また、近年は大雨災害のほか自然災害が頻繁に発生し、その復旧に大いに予算と時間を割いて対応していることは理解できる。しかし、住民に不便と不安を強めているこ

とも事実であるので、さらに創意と工夫を凝らし、早急に復旧されるよう要望するものである。

なお、25年度の重要施策として、当初予算に計上された第二公設クリニック整備事業の実現が遠退いたことは残念な結果となったものである。特にも特殊診療科医師の確保については、引き続き最重要課題として取り組んでいただきたい。

各特別会計・水道事業会計予算は、独立採算を原則としているため毎年増加傾向にある一般会計繰入金の削減に努力されるよう望むものである。

非常に厳しい運営を強いられている国保会計については、消費増税の社会保障財源化の成果を待つことなく、医療費削減のための施策を大いに展開し、繰上充用を行わなければならない状況からの脱却を早期に図っていただきたい。



医療費助成の充実と

国保会計への要繰入

菅野敦子議員

26年度一般会計、国民健康保険事業勘定特別会計、後期高齢者医療特別会計、水道事業会計の4予算に反対します。

■一般会計

臨時職員の賃金、待遇や身分の保障を十分にするべきです。

高校生などの医療費助成の所得制限の撤廃や他市町村での受診にも支援をすべきです。また、病院での窓口払いをなくするよう、現物給付を県に働きかけるべきです。

一戸と一戸南の学童クラブは、手狭で改善が必要です。

就学援助制度の充実拡大のため、制度の周知を徹底し、クラブ活動や学用品などの支援を受けやすい環境にするよう求めます。



手狭となった一戸南学童クラブ

中学生国際交流派遣研修事業は、義務教育課程の一部中学生の優遇で教育の機会均等に反します。

農業では、農地集約など大規模化を進めていますが、小規模農業を守る施策を進めるべきです。

■国民健康保険特別会計

財政状況が厳しく、基金もない状態のため、一般会計からの繰入金で値上げを抑え、減税に向か

うべきです。また、短期保険証や資格証を発行しない親身な対応を行うべきです。

■後期高齢者医療特別会計

高齢者が気兼ねなく医療にかかれる制度にすべきです。

■水道事業会計

水にも消費税をかけることは国策と言え許せません。消費税の増税分は内部留保資金や一般会計からの繰り入れで対応すべきです。

小繋地区へ念願の水道が導入されますが、配管工事費20〜40万円への支援を講ずるべきです。

全庁的な御所野関連事業 就職支援事業にも期待大

駒木 二郎 議員



御所野遺跡の世界文化遺産入りに向けた予算では、教育費のみならず、新たに総務費や土木費にも措置され、まさに全庁的な取り組みとなったことは、町一丸となった姿勢を示したことであり高く評価するものです。

生ごみの減量化については、段階的に町中心部全域に広げ、近い将来には、全町に拡大する方針とのことです。また、小



焼却ごみの減量と資源循環が期待されます
(生ごみ発酵処理事業見学会)

型家電の回収やプラスチックごみの分別や、衣類のリサイクルなどあわせ、焼却ごみの減量化と資源循環が加速度的に進むと期待します。

子育て支援では、公設民営の小児科クリニックや病児保育施設の近接地に、子育て支援住宅の新設や、質の高い保育提供のために待遇改善を行うなど、子育て天国・一戸の実現に向け、着実に前進すると感じています。

新卒者ふると就職支

援事業は、町内事業者が優秀な町出身者を雇用し、若者層の定住につなげ、今後の地域リーダーとなる若者を育てる施策であり、積極的な運用を期待します。

以上のことから賛成の討論といたします。

なお、総合基本計画の策定にあたっては、明確な目標を持ち、実現性の高い計画となるよう、情報公開を徹底し、住民の意見を反映した計画となるよう要望します。

北部広域環境組合からの脱退を議決

一般議案審議



武道場建設予定地

一般議案9件、人事議案3件、補正予算3件は、審議の結果、いずれも原案のとおり可決されました。

条例ほか

3月31日をもって脱退するもの。

◆岩手北部広域環境組合からの脱退

ごみの共同処理のために、久慈・二戸の8市町村で設置した岩手北部広域環境組合から平成28年

◆社会教育委員定数及び任期に関する条例の一部改正

社会教育法の改正による関係条文の改正

◆岩手県市町村事務組合を組織する地方公共団体の数及び組合規約の一部変更

加入団体の組織改編による所要の変更をするもの。

◆町道の廃止及び認定

町道奥中山駅前北線（終点の変更）

起点 奥中山西田子940

終点 中山字大塚362・5

（変更前 大塚7・1）

（延長 1千436・7m）

町道馬場平支線（認定）

起点 岩館馬場平10・5

終点 岩館馬場平54・1

（延長 233m）

指定管理

◆コミュニティセンター・図書館

指定管理者 いちのへ文化・芸術NPO

平成29年3月31日まで

◆総合運動公園

指定管理者 NPOス

ポーツウェルネス

平成29年3月31日まで

◆来田保養センター及び

来田地区世代交流センター

指定管理者 来田保養セ

ンター管理組合

平成29年3月31日まで

契約変更

◆町道女鹿線改良工事

金額 5千813万1千円

契約者 (有)駒ヶ谷建設

工事契約

◆武道場新築工事

金額 2億4千570万円

契約者 (株)田中建設

専決処分

◆損害賠償

公用車により、個人設置のカーブミラーを損壊したため賠償する。

金額 2万1千円

◆工事請負契約の変更

御所野縄文博物館展示改修工事

金額 1億1千789万円

契約者 中村展設(株)

一般会計（第7号）

2億3800万円増

公共土木施設災害復旧費

2億183万円

地域公共ネットワーク強じん化工事費

1億4292万円

農林施設災害復旧費

4500万円

第2公設クリニック建設費他

▲1億800万円

国民健康保険事業（第4号）

80万円増

水道事業会計（第3号）

8400万円減

補正予算

教育委員の任命に同意



古舘 英彦氏
(一戸字向町)

教育委員会委員に古舘英彦氏と野田紀子氏を任命することに同意しました。

古舘氏は新任、野田氏は再任2期目となります。

任期は、いずれも平成26年4月1日から平成30年3月31日までの4年間です。



野田 紀子氏
(西法寺字西法寺)

固定資産評価委員の選任に同意



武田 昇氏
(中山字大塚)

固定資産評価審査委員会委員に武田昇氏を選任することに同意しました。

任期は平成29年3月17日までの3年間です。

質疑応答

問 コミュニティセンター・図書館と運動公園

は、現在でもNPOに運営委託していますが指定管理にする理由を伺います。

答 各施設を指定管理にすることで、管理の責任区分が明確になるため

です。

問 地域公共ネット

ワーク強じん化工事の内容を伺います。

答 光ファイバーにより整備した公共通信網を、無線の受信局を整備し断線の際などでも通信のネットワークを確保するものです。



NPOの指定管理がはじまる総合運動公園



地域公共ネットワークの強じん化を図ります
(ICT広報スピーカー)

問 馬場平支線は国道用地ですが、町道認定することによって所有と管理の区分はどうなりますか。

答 事業を予定して予算を組みましたが、対象事業がなかったため減額したものです。

答 町道認定することにより管理は町になりますが、用地の所有は国のままです。

問 第2公設クリニック整備関連事業が、取り消されておりますが、その経緯を説明ください。

答 開設を予定していた医師の都合により、開設できなくなりました。

問 林業振興費の減額補正がされていますが、その理由を伺います。

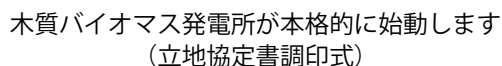
一般質問

上柴	山田	文正	雄三	議員
				議員
峠		勇	男	議員
菅野		敦	子	議員
田中		辰	也	議員
中瀨		春	英	議員
熊谷		一	男	議員



再生可能
エネルギー

発電に支障のない熱利用を検討



③木質バイオマス発電などが全国的に普及した場合、燃料は十分に確保可能か伺います。

(株)エナリスの合併で、1月26日に子会社として発

電事業を行う(株)一戸フオレストパワーと孫会社で燃料の製造販売を行う(株)一戸森林資源が設立されました。資金などの関係は下図のとおりです。また、用地は賃貸の方向で協議しています。

②今回の発電所は、熱

エネルギーを最大限に電気エネルギーに交換するタイプのため、発電力に影響のない部分での熱利用ができないか検討し、事業者へ働きかけます。

③町内の森林資源を最

木質バイオマス発電事業関係図

```
graph TD
    A[一般出資] --> B["(株)フォレストキャピタル"]
    B --> C["緑の電力ファンド"]
    C --> D["(株)フジコー"]
    D --> E["(株)エナリス"]
    E --> F["地産地消 PPS"]
    F --> G["東北電力"]
    F --> H["(株)エナリス"]
    H --> I["(株)フジコー"]
    I --> J["(株)一戸フォレストパワー"]
    J --> K["(株)一戸森林資源"]
    K --> L["木材チップ製造事業"]
    L --> M["用地賃貸"]
    M --> N["(株)一戸町"]
    N --> O["一戸インター工業団地"]
    O --> P["地元施設等"]
    P --> Q["託送供給"]
    Q --> R["地産地消 PPS"]
    R --> S["売電"]
    S --> T["東北電力"]
    R --> U["売電"]
    U --> V["熱利用の検討"]
    V --> W["(株)一戸フォレストパワー"]
    W --> X["出資"]
    X --> Y["(株)フジコー"]
    W --> Z["出資"]
    Z --> A1["(株)エナリス"]
    W --> A2["出資"]
    A2 --> B1["(株)フォレストキャピタル"]
    B1 --> A
```

大限に活用していくために、広大な面積の共有地を管理する組合とも話し合いを進め、一定の適齢伐期を設定し、木質バイオマス燃料として地域循環させることで、持続可能な森林運営ができるよう仕組みづくりも行いたいと考えています。



柴田正三議員

産業振興

町内に道の駅整備

既存施設の機能強化が合理的

質問

産業振興と雇用

創出、また、観光案内充実のために、「道の駅」「観光案内」「産直」などの施設を整備する必要がありますが、町長の所見を伺います。

町長

施設設置には多

くの検討すべき要素があります。立地場所については、一戸インターチェンジの周辺であれば、御



既存施設の機能拡充が合理的（サラダボウルこずや）

所野遺跡を含め広域的な観光案内が可能ではないかと考えます。

一方、建設費用や管理体制を考えると、サラダボウルこずやなどの既存施設を拡充し、道の駅の機能を持たせることが合理的とも考えられます。

農産物などの販売施設という点で考えると、新たな産直の設置による競争の増加、参加組合員の

確保など考慮すべき点もあると考えます。

いずれ、道の駅に期待

再生可能エネルギー

メガソーラー・小水力発電

地域主体の小規模発電には支援

できる部分も大いにありますので、既存施設の強化を図りながら、新設に

についても検討したいと考えます。

質問

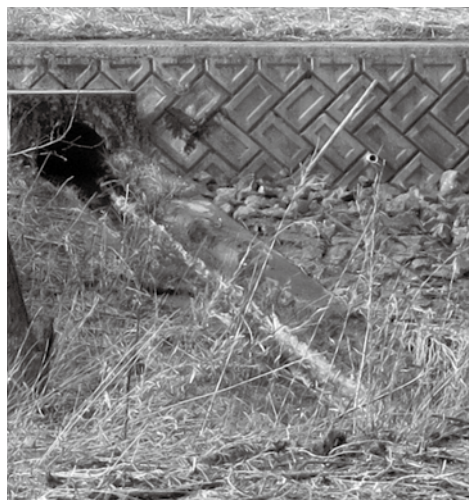
再生可能エネルギー

の活用が期待されています。今後、メガソーラー的な施設や身近な水路を活用した小水力発電の導入の計画はありますか。

町長

メガソーラーに

ついては、これまで数件の民間事業者から照会があり、町有地の情報を提供した経緯はありましたが、事業に適した規模の平地の確保が困難であり、冬には積雪への対応が必要なことから、それ以上の進展には至っていません。また、小水力発電につ



地域の身近な水路を活用した小水力発電などの導入を

いても、大志田ダムに続く事業適地を探してきました。しかし、法令による制限もあり、水量や傾斜などの条件を満たし、費用対効果を生み出すような適地は見つかっていません。

どちらの発電施設も、

町が事業主体となった売電目的の事業化は難しいと考えます。

地域で温暖化防止や自給自足的に導入する場合は、費用に対する助成も考えられます。支援方法についても検討していきます。



峠 勇 男 議員

国 保 会 計

町民負担の増加が心配

基本的な施策を忠実に

質問 国保会計は慢性的な赤字運営が続いています。今後の見通しと、町民の負担が大きくならないためにどのような施策を行なうつもりか伺います。

町長 財政運営を円滑

に行なうための、財政調整基金が底をついたことや、前年度からの繰越剰余金も期待できないなど、厳しい状況が続いています。これは一般的に他の市町村と同様に所得の少ない人や、医療依存の高い高齢者が多いとい

う構造的なことが要因と考えています。

国では、法律を整備して医療制度の維持と改善に取り組むとしています。が、本町の国保財政を画期的に改善することは難しいと考えています。

健康教育を徹底し、健康の意識と関心を高めま

す。検診無料化により、町民の皆さんに、疾病予防と重症化防止に取り組んでいただくことで、医療費の増加を抑制したいと考えます。

健康づくりへの意識と関心を高めます
(いきいき教室：小鳥谷地区公民館)



公共施設

アセットマネジメント的観点で

有利な財源措置を求めて

質問 将来に向けてどのように管理していくことになりそうですか。例えば、統合した後の学校の建物などについて、解体撤去についても国で助成することを検討しているところですが本町で取り組む予定はありますか。

町長 公共施設は、地域活動の必要な拠点であることは確かですが、時代の変化により統廃合など管理のあり方について見直していくことも必要だと考えています。

新規に施設を設置する場合だけでなく、計画的に管理や撤去を行なう

場合にも国から財政支援を受けられる制度を設けることが示されています。

本町としては公用公共施設改修等基金を設置し、役場庁舎の耐震補強や学校の改修の必要が生じた場合の町負担分の財源に充てる予定としています。

平成26年度の予算編成を行なう段階から公共施設等総合管理計画に沿って調査を開始していますが、これを実施するに当たっては、過疎債のように有利な財源措置が得られるように国に対して求めていきます。



管理などを計画的に行う必要があります
(休館となった中里児童館)



菅野敦子議員

再生可能
エネルギー

安定的な燃料確保

増産を手配することで可能

町長
①木材の集材については、二戸管内で年間13万トン行なわれているといわれています。原料集材エリアは県境を越えて半径100キロの範囲を想定しています。このなかには35万ヘクタールの森林面

質問 一戸インター工業団地に、立地が予定されている木質バイオマス発電所について伺います。
①年間9万トンが必要とされる燃料の安定的確保
②音や臭い、景観上の問題



木質バイオマス発電所の燃料として年間9万トンの木材が必要です

積があり、素材流通協同組合の予測では現在の生産量に加えて増産を手配することができるとされていますので継続的に安定して確保できると判断しています。
②環境の影響について、建設予定地は一戸インター工業団地で、都市計画上の用途は工業専用地域であり、騒音やばい煙規制などの法令を遵守するものになっています。また取り組みを進めている世界遺産登録に関するバッファゾーンのエリアの外であり問題ないと考えています。

町長 高校生までを対象として児童生徒等医療費助成を行なっているところですが、現在所得制限を設けて実施しているところですが、高校授業料の無償化制度の改正などを参考にして将来に向けて制限緩和の検討をしたいと考えています。

質問 児童生徒医療費助成について、所得制限をなくするとともに、町外の医療機関も対象にすることや、現物給付（※）に改める予定はありませんか。

医療費助成

所得制限の解除を 将来に向けて制限緩和を検討



児童生徒医療費助成について所得制限の緩和を検討（第1公設クリニック）

※ 現物給付
定められた受給者負担額のみ医療機関で支払い、それを超える分の自己負担額は町より医療機関へ支払う方法。

利用してもらいたいと考えています。
現物給付を行なうことについては、県の医療費助成制度のシステムが変更されなくても町内でも実施が困難だと考えています。

このほかに「教育委員会制度改革」などについても質問しました。



田中辰也 議員

総合計画

町の未来を話し合う場を設ける

住民参加で基本計画策定

求めているかがですか。

質問 次の基本計画策定にあたり、テーマや分野別のタウンミーティングやワークショップを行うとしています。最低でも人の顔が見える旧小学校区単位など、より細かい単位で開催し、意見を

町長 地区懇談会の持ち方として、これまでは町の施策を説明することが主となっています。町としても、住民主体のまちづくりを進めるため、

従前の地区懇談会以外の方向も検討する必要があると認識しています。

今後、住民意見の聴取方法として、例えば町内会や行政区単位などでの懇談会の開催や、若者や女性からの意見を取り込んでいくために、若者が比較的多い町内企業や、高校・PTAの集まりなどでの開催、その他効果的なアンケート方法なども検討していきます。

他市町村では、町内会単位で地域住民が地域の総合計画を自ら策定している事例もあるようです。自分たちの身近な場所から将来のビジョンを持ち、希望にあふれたまちづくりを進めていけるよう検討を進めます。

活発な意見交換の場が必要です
(平成 24 年 地区懇談会の様子)



地区公民館

地域教育の拠点

学校と地域がかかわる事業の展開を検討

質問

統合などにより学区が広くなり、地域と学校のかかわりが薄れてきています。地区公民館が主体となり、地域教育の拠点として積極的に学校と地域を結ぶ役割を果たしてはいかがですか。

教育長

児童生徒数の減少により、教育振興運動の事業参加者が減少し、地域で事業にかかわる大人が限定されているなどの課題があります。現在は、各校区単位で読書活動の推進や、家庭学習の充実、地域学習や



地域教育の拠点として地区公民館の役割は重要
(放課後子ども教室：鳥海地区公民館)

体力づくりなど、地区の状況に応じた取り組みがされています。

各地区公民館では、野外活動体験やスポーツ教室、三世代交流会などを行っています。この事業の運営や講師を地域の方々から担ってもらうなど、子どもたちと地域の交流が図られるよう努めています。

今後は、公民館事業として教育振興運動で実施されている地域活動の一部をさらに担うなど、より連携を深める事業の展開を検討します。



中瀬 春英 議員

観光PR

I G R区間でS L運行

S Lを活用したイベントを検討

町長 S L運行には1回5千万円以上の費用が見込まれ、運行に際し保安要員の確保が難しいこと、S L車両に給水する設備がI G R区間に設置されていないことなど、実現は非常に厳しい状況

質問 蒸気機関車を旧東北本線のI G Rいわて銀河鉄道区間で運行させ、御所野遺跡や一戸町のイメージアップにつなげる考えはありますか。



小繫地区を走る蒸気機関車（昭和40年ごろ）

であるとのことでした。しかし、かつて運行していた当時の雄姿を彷彿とさせるS Lが運行されると、町外から訪れる多くの鉄道ファンに対し、御所野遺跡の世界文化遺産を目指し、取り組んでいる本町の知名度向上に大きく寄与するものと考えています。

I G RとしてもS Lの活用により沿線自治体の活性化に貢献したいとの考えがあり、また、一部

町長 現在の町の保育士と保健師を除いた職員数108人のうち女性職員は17人です。女性職員の役割への登用については、平成7年度と8年度の2力年間、会計課長に女性を登用し、課長補佐を含め所属職員の全てを女性とする試みを行ったことがあります。

それ以降も子育てほか家庭の事情などに配慮しつつも、25年度にあっては会計課長補佐と国保係

質問 女性職員をどの様に登用してきたか、また、今後についても伺います。

女性登用

役場での女性登用状況

住民からもS L活用意向を伺っています。S L運行に限らず、何らかの

形でS Lを活用したイベントなどの実現を図りたいと考えています。

S L運行には各沿線市町の熱意や盛り上がりが必要で

長に女性を登用しています。

町では女性の能力を組織の力として最大限に発揮できるようスキルアップの場に参加させていますが、女性登用を目的と

した全国規模の長期研修に1人派遣しています。これからも女性リーダーの実践的な素養を学ぶ機会には積極的に派遣していきます。



各種研修に積極的に派遣し、人材育成に努めます（今年度の一戸町新採用職員）

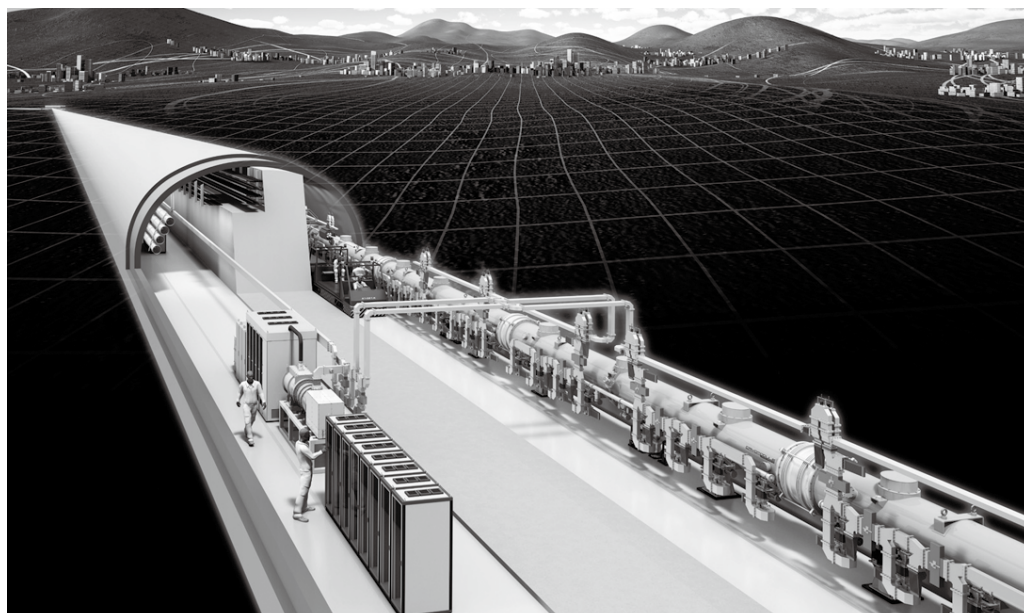


熊谷 一男 議員

I L C

北上山地が 国内候補地へ

県北への経済波及効果に期待



国際リニアコライダー（イメージ図）

質問 国際リニアコライダー（※）（ILC）

の岩手県北上山地への招致に向けた夢が一步進むような報道なども一部に見られます。

将来、ILCが生む研究成果による最先端の科学情報が岩手から世界に発信できる日が来るならば、一戸の子どもたちの、あるいは広く岩手県人の夢と誇りになると思っています。

岩手始まって以来の大イベントについて町当局が持っている情報についてお知らせいただきたいと思っています。

また、当巨大プロジェクトに対し本町および県北地域が何らかの参加ができる余地があるものな

のかどうか、併せて伺います。

町長 ILCの建設候補地が世界で6カ所挙がっている中、日本では東北の北上山地と九州の脊振山地が候補地となっていました。

昨年8月、ILC立地評価会議で、国際建設候補地が岩手・宮城両県にまたがる北上山地を最適とする評価結果が公表されました。これにより、国内候補地が一本化されましたが、多数の建設費負担を伴うなど課題もあることから、国では、ILCの日本誘致を決定する判断を未だしておりません。

今後のスケジュールと

しては、世界の研究者で構成されるILC運営委員会が2015年以降に最終候補地を絞り、2010年代後半から建設を始め、2020年代に稼働を開始する予定であるとのこと。

このことが実現すると、東北地域の産業に大きな経済波及効果をもたらすとされており、推計では、ILCの建設段階から運用段階に至る30年間で約4・3兆円の生産誘発額が生み出されるとされています。

本町および県北地域への波及効果について、現段階では、資料がないため、予測が難しい状況となっておりますが、ILCを核とした国際科学研究

圏域が東北地域に形成されること、大震災からの復興と再生の原動力となるものでありますし、当地域への経済波及効果についても期待されることです。

※ 国際リニアコライダー（ILC）

地下トンネルに建設される大規模研究施設のこと。

超高速エネルギーの電子と陽電子の衝突実験を行うために大型の線型加速器を設置します。

農業が抱える諸課題を探る

産業建設常任委員会

産業建設常任委員会では、所管事務調査として「農業者と議員との懇談会」を2月5日、役場庁舎大会議室で行ないました。

生産者を代表してJA新いわての生産部会・組合の代表者11人、JA関係者3人、町産業部長、産業建設常任委員5人が参加し、町の農業の現状と課題について、熱く意見を交えました。（主な要点のみ）



農業の各分野の代表が集い諸課題について意見を交換

■果樹生産部会

①ミツバチへの助成。養蜂の蜂を借りている状況。②ハクビシンの被害増加。③二ホンジカ増加の懸念。④生産者の高齢化と廃業。

■野菜生産部会一戸小鳥谷支部

①一戸夢ファームは新規就農者の研修の場、適地適作の試験の場として有効な施策。②約140人で約2億2千万円を出荷。7割はトマト。10数人は新規就農者。③県営畑総の柔軟な配管に配意を。④指導者の育成が必要。

■野菜生産部会奥中山支部

①107戸の会員②レタスは約半数が契約栽培。8月中旬以降の雨と高温などによる病気で数量確保が困難。排水対策や高地への移動が必要。③菌床シイタケや促成アスパラは燃料高騰の影響大。④

廃プラの処理料も高騰。⑤高齢化や嫁不足。

■花き生産部会一戸支部

①販売額の9割以上がリンドウ。②生産技術を向上させ、市場の評価を高める必要あり。③資材の高騰。

■稲作生産部会

①栽培面積、出荷量は横ばい。②2年ぐらい前から庭先取引が増加。③減農薬などによる特別栽培米の作付が当り前に。④作業委託が増加。委託料（労賃）や引き上げが必要。また、農地の賃貸借料の基準も必要。

■酪農生産部会

①会員は町内が39戸。②生産量、販売量とも増加傾向だが、毎年2〜3戸が廃業。共同作業が困難。ヘルパー要員不足。③粗飼料と配合飼料が約20%高騰。④乳価が5円上がったが、飲用は実質

2円90銭で残りは加工に吸収。⑤消費拡大への支援が必要。⑥粗飼料確保のための圃場集積の促進が必要。⑦農業関連施設にかかる固定資産税の減免措置が必要。⑧嫁不足への対策が必要。

■肥育牛生産部会

①会員5戸で約1千500頭を肥育。②枝肉価格の低迷、飼料価格の高騰、肥育もと牛の高騰で厳しい経営状況。③繁殖もと牛の保留と有利販売の促進が必要。④T P Pに対応するため、6次産業化への行政の取り組みが必要。⑤町産牛の奥中山高原センターハウスでのメニュー化、横浜市のアンテナショップでの取り扱いなどの検討が必要。

■短角牛生産部会

①14戸で60頭を飼育。②優良子牛を残すため近隣産地との共進会開催の検討が必要。③25年ごろ

から1頭28〜35万円に上昇（以前は12〜15万円）。④牧草検査は早めの実施が必要。

■和牛改良組合奥中山支部

①会員59戸。②和牛子牛は約2割値上がりし、雌牛をすぐ手放してしまう傾向にあり先行きが不安。高品質の雌牛確保への助成を。

■和牛改良組合一戸支部

①会員10戸。総会は2〜3人しか来ない状況。②現在、子牛の価格が高くすぐ売却。優良雌牛の保留が必要。

■一戸地区葉たばこ耕作者振興組合

①現在97人、約56haで2億5千300万円の出荷。高齢化、後継者不足による耕作者の減少が課題。③立ち枯れ病対策にはプラスαが必要、良質堆肥への助成が必要。

〒028-5311 岩手県二戸郡一戸町高善寺字大川鉢24-5
TEL. (0195) 33-2111 FAX. (0195) 33-4070
E-mail. gikai@town.ichinohe.iwate.jp

広げよう 感動。伝えよう 感謝。



一戸町教育委員会生涯学習課 西村 美香



希望郷いわて国体・希望郷いわて大会マスコットキャラクター
わんこきょうだい

平成28年に本県で第71回国民体育大会が開催されます。本県での開催は昭和45年以来46年ぶりとなります。今大会は国體終了後に、第16回全国障がい者スポーツ大会が開催されるため、愛称は「希望郷いわて国体・希望郷いわて大会」です。また大会スローガンは、「広げよう 感動。伝えよう 感謝。」です。

東日本大震災からの復

興を「希望」をもって目指し、両大会を成功に導き、県民が一丸となつて「希望郷いわて」をつくり上げること。また「スポーツを通じて感動を全国に広げたい」「全国からの東日本大震災復興支援に対する感謝を伝えたい」という思いを込めています。

本町では、国体の正式種目として「なぎなた」が、またデモンスト

希望郷 いわて国体・希望郷 いわて大会

第71回国民体育大会(希望郷 いわて国体)

本大会：平成28年10月1日（土）～11日（火）

冬季大会：平成28年1月～2月（予定）

一戸町開催競技

「なぎなた」(場所：一戸町体育館)

10月2日(日)～4日(火)

「ターゲット・バードゴルフ」

(場所：奥中山高原特設コース)

10月9日(日)

第16回全国障害者スポーツ大会（希望郷 いわて大会）

開催日程：平成28年10月22日（土）～24日（月）

一戸町開催競技

「ペタンク」(場所：一戸町総合運動公園陸上競技場)

10月23日(日)

あ
と
が
き

▼暖冬の予想が一転して2月からたびたび大雪に見舞われました。

▼住む家が壊れたり
農業用ハウスの倒壊
の被害にあわれた皆
様には心からお見舞
いを申し上げます。

▼荒れる午年といわれています。その予兆ではないかと心配するところですが、まもなく桜も桃も梅も一斉に満開する文字通りの「山が笑う」といわれる季節がきます。

▼楽しい一年になる
こと期待して春を迎
えましょう。

議会議長 廣田 英二
副委員長 嶋 勇男